

ろて振海きふち糖ふれがひねとて病癒ふこあり一物めれを  
或物に成也常に新降ホリ明々こ咽随ふとき口之度宛お精  
振ら——う改事也書こよりいれ念ほよくバ定降  
九折も接指しこの咽めがふ知染る咽随かふは肉ヲ能ぬ  
き肉ヲよく——て指海——降咽の度とて良又渡りチ  
よと——肉とらやめめれば大きく張るは小物とて相振  
能長延——してて提之而大馬の肉の付る肉分う訴ぎは  
降リチ以大馬ヲ提ぬん付さる——て指別むまに提也  
能くん為る事也